

高校演劇叢書●第五十一卷

山吹綠
脚本集



門土社総合出版

高校演劇叢書●第五十一卷

山吹緑 脚本集

門土社総合出版



やま おき みどり
山 吹 緑 (本名 奥泉眞智子)

1953年，群馬県前橋市に生まれる。

元桐丘高等学校（現桐生第一高等学校）教諭。

現在，桐生第一高等学校非常勤講師。

現住所 群馬県勢多郡大胡町大胡 304-2

《高校演劇叢書》第五十一卷

山吹緑脚本集

著者 山吹緑

企画 岡本豊

編集 田邊道子

制作 同林工房

校正 和田守

印刷 藤原印刷

発行者 小澤紀子

発行所 門土社総合出版株式会社

横浜市戸塚区下倉田町一丁目六番地

〒224 電話 〇四五(八六四)〇二四四番

平成四年八月三日 初版第一刷 発行

《定価 一、二三〇円(本体一、一九四円)》

©1992 Yamabuki Midori

ISBN4-89561-112-4 C 0374

目次

高校二年生	—— ささやかな波紋 ——	3
カンパ		39
のぞみ		83
スター誕生	—— ある演劇部日誌 ——	113
ある演劇部の話	—— 乾杯 ——	159
舞台図		199
演出ノートにかえて		204
あとがき		213

裝訂●黒川百合子

高校二年生——ささやかな波紋——

《登場人物》

くみ子

久子

泉

昌代

千香

宏枝

佳美

由美子

第一場

ある女子高二年生の昼休みの教室。

食事中のくみ子、久子。

踊っている泉、昌代。

雑誌を見ている千香、宏枝。

勉強している佳美。

くみ子 くうちゃん、お願い。そのおにぎり半分ちようだい。

千香 ヤダ、あれだけ食べてまだ足りないの。いつもドカベンにくせに。

久子 プタになるわよ。

くみ子 なってるもん！ いただきます。 (食べ終えて) うくん、もうちよっと。

千香 あきれた。あとは由美がパン買いに行ってるから、それもらうのネ。

くみ子 そうしようっと。

宏枝 (雑誌から顔を上げ) あ、これかわいい！ 佳美、あんたの好きな鳩はとが出てるわよ。

千香 えっ、佳美、鳩飼ってるの？

佳美 そう、伝書鳩はと。シオン一世号っていうんだけど、ピー助って名前つけて訓練してるの。寝中しゅちゆうってわけ。

久子 佳美にそんな趣味あったの。

佳美 うん。慣れてくるとかわいいわよ。今日あたり飛ばしてみようかと思ってるの。

くみ子 ふうーん。佳美が鳥かわいがるなんて意外。

佳美 あら、私は心の優しい人間ですからね。動物は好きなのよ。特に血統書つきのピー助ちゃん、大好き！ 今にきつと立派な伝書鳩にしてみせるわ。

泉 同じ血統書つきなら犬のほうがいいよ。私、鳥嫌い。ほら、前ヒツチコックの「鳥」って映画 あつたろ。あれ見たら恐ろしくなっちゃった。鳥が人間襲うんだもん。

昌代 私も鳥は好きじゃない。それより猫がいいよ。この間捨て猫拾って来たんだ。お母さんが何ていうか心配だったんだけど、かわいそうだから飼ってもいいって。今、毎晩一緒に寝てるんだよ。

千香 いいなあ。私も飼いたいんだけど、お父さんが大嫌いだって言ってダメなの。

宏枝 私はやっぱり犬が好きだなあ。血統書つきのスピッツ買ってもらったんだけど、きれいよお。時々洗ってやると真白になってる。毎朝私が散歩に連れていってるの。

昌代 捨て猫だって、洗えばきれいになりますよ。

千香 犬は尻尾振るからキライ！

宏枝 あら、そこがかわいいんじゃないの。

千香 それに血統書なんて何よ。ついていなくて犬にかわりないじゃないの。

佳美 血統書がついていれば高く売れるわよ。それがいいから捨て猫の子は捨て猫なんじゃないの。

久子 ねえねえ、くみ子の好きなのは？ やっぱりブタ？

くみ子 まあ、失礼ねえ。じゃ、くうちゃんは何よ。

久子 ウフ、くうちゃんは縫いぐるみがいい。

笑。「くうちゃんらしい」等。

千香 ねえ、でも鳩っていえば、この頃土鳩どばとが増えてるっていうじゃない。

泉 どぼと？

千香 そう。伝書鳩が家に戻れなくなったり、違う鳩にくつついてっちゃったりして土鳩になっちゃうんだって。ほら、駅前やお寺のなんてそうよ。

宏枝 ああ、そんなこと新聞に出たことがあったわね。増えすぎて困るから、餌えさに見せかけて避妊薬まいて食べさせてるっていうじゃない。

くみ子 佳美、ピー助も気をつけたほうがいいわよ。

佳美 大丈夫よ。そうならないように毎日教育してるんだから。

昌代 だけど生き物はいいなあ。勉強しなくてすむから。

久子 あら、昌代でも勉強で悩むことあるの？

昌代 いつも悩んでるよ。私、バカだから。

佳美 だったら勉強すれば？ 教えてあげるわよ。

泉 教わってもわかんないバカだから悩んでるんだよな。

佳美 それに、生き物だって楽そうに見えるけど、遊んでるわけじゃないでしょ。餌捜しながら生きてるのよ。

泉 昌代、勉強の話はよせよ。女はね、頭なんか良くてもなんにもならないよ。利口なだけじゃ男にもてないの。いくら頭が良くても陰険女じゃダメ！

久子 そうよ。うくと色っぽくなくちゃ。

泉 うん。まず男を引きつける魅力だよ。

佳美 また男の話？ 何か他に話題ないの？

久子 佳美、もてないからってひがまないの。

くみ子 女は美しく愛らしくあらねば!! 私ほうくとだんな様を大切にする世話女房になるんだ

あ!「アナタ、お帰りなさい。」

千香 アハハ……。だけどそういえば世間を騒がすようなホントの悪い事って、みんな優秀な人がやってるわね。

宏枝 バカじゃ思いつかないんでしょ。

千香 佳美も勉強しすぎると、今に三面記事にぎわすようになるんじゃない。

泉 そうそう。私なんかバカだけど、やってる事っていえば親に隠れて吸ってるくらいだもん、か

昌代 うん。

二人また踊りだす。

くみ子 由美がこの前停学になったのも、デパートの万引か……。びっくりするほど悪い事じゃないわね。

久子 まあネ。

由美子 入ってくる。

由美子 あれ、もうみんな食べちゃった？　じゃあ私も食べよつと。

くみ子 ねえ、私にひと口ちょうだい。

由美子 うん、いいよ。だってこれ、ただなんでもん。

くみ子 えっ、どうしてただなの？

久子 購売のおぼさんがサービスでもしてくれたわけ？

由美子 ウフフ、ちよつとよそ見しているすきにいただいてきちゃったの。

くみ子 えーっ！

昌代 やつてきたの？　へーよくやるじゃない。

泉 由美、ずいぶん上達したわね。私にもちょうだい。

由美子 どうぞ、どうぞ。どうぞ。どうぞただだもん。

昌代 そうネ、みんなで食べよう。

佳美 荒々しく椅子いすをけつて立ちあがり出ていく。

昌代 ほら、くみ子は？

由美子 遠慮しなくていいよ。

くみ子 うん。(おそろおそろ食べる)

由美子 (食べ終えて) ああ、おいしかった。ただだと味も違うよ。泉、トイレ行かない？ 持つてきてるんだ。

泉 (回りを見回して目で答える) 行く。

二人出ていく。入れ違いに佳美戻ってくる。

宏枝 どうしたの？

佳美 別に。ただ万引きのパンを食べるなんて気分が悪いから。

昌代 あの二人また吸いに行つて。万引きしたり、由美変わったな。ああ、私も行きたい。

宏枝 あら、私はあんたも一年のときから見ると変わったと思うわよ。

昌代 私のどこが変わったっていうのよ。

佳美 スカートは長くなつたし、髪だつてしょっちゅうカールしてるじゃない。

宏枝 カバンはペチャンコ。教科書は全部学校に置きっぱなし。

昌代 みんなやつてることよ。二年になつてスカート長くないほうがおかしいじゃない。

宏枝 そう？ 私は短いほうがいいと思うわ。

佳美 そうよ。あんたのやつてることつて、みんな由美と同じじゃない。由美の影響受けて真似してるだけよ。

昌代 どうせ私はいい加減ですよ。

校内放送のチャイムが鳴る。

先生の声 全校生徒に連絡します。本日午前中、一年三組の教室で授業料が盗まれました。そのた

め、五限目は全校一斉にHRとし、その調査をします。各クラスとも担任の先生の指示に従いなさい。なお、クラス会長は大至急職員室前に集合すること。

宏枝 あくあ、なんて物がよくなる学校なんだろ。

佳美 ホント。この間はおろしたての靴、その前はロングスカート、その前はやっぱり財布だつたっけ。

昌代 ほら会長、職員室前だつてよ。

宏枝　しょうがない、行ってくる。ああヤダヤダ。

宏枝出ていく。

久子　ねえ、また所持品検査やるのかしら。

くみ子　どうせそうでしょ。

千香　バカバカしい。何かあるたびに調査だ検査だ。犯人が名乗りでるまで帰さないなんて言ってたて、結局いつもわからずじまいじゃないの。あく不愉快。

由美子、泉、戻ってくる。

千香　ちょっと、放送聞こえた？

由美子　うん。トイレの中までバツチシ。

泉　また例の如く……？　ちえ、遅くなるかなあ。

久子　遅くなるとうちゃん困っちゃうな。デートなんだもん。

みんな　えー、デート？

千香　「僕はくうちちゃんみたいなポテツとしている人が好きです。」

昌代　ああ、私も彼氏がほしい！

みんな バカ。

千香 ふざけたこと言ってる場合じゃないわ。ね、おかしいと思わない、何かなくなるたんびに同じことやって。お金なくなつたのこれが初めてじゃないのに。

くみ子 進歩がないわよねえ。

千香 靴がなくなる、お金が盗まれる、そのたびに先生は、よく管理してなかつたのが悪いとか、貴重品預けなかつたのが悪いとか言うだけじゃない。

泉 もうちよつといいゲタ箱にしてほしいよな。ふたもねえんだもん。

昌代 板きれ渡しただけのボロのゲタ箱だから、いい靴が目立つんだよ。おまけにその板もはずれるとあっちゃ、ラブレター入れる気にもならないさ。

佳美 あんたつてよくよくバカねえ。女子校なのにラブレターが入つたらレズじゃない。

五限開始のベル。

宏枝戻ってくる。手にわら半紙を持っている。

佳美 宏枝、どうだった？

宏枝 うん、これにね、今日の自分の行動を書きなさいって。

みんな ええーっ！

由美子 だけど、そんなん授業に決つてるじゃん。

